

授業科目 基礎健康科学研究特論	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士後期1年次 前期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> 可・不可																																																
科目責任者	(基礎研究・実用技術領域代表) 七島 直樹																																																		
担当者	井澤 弘美、岩月 宏泰、今 淳、佐藤 伸、七島 直樹、乗鞍 敏夫、李 相潤、 渡邊 龍憲																																																		
1. 科目のねらい・目標 <p>研究は、基本的には研究者がこれまで培ってきた知識と研究手法に基づいて発展させていくものであるが、異種領域の研究手法や発想を取り入れることがブレイクスルーとなり、当該研究の発展につながるものが往々にしてある。</p> <p>本講座では、基礎健康科学領域の研究に実際に取り組んでいる各講師が、現在の研究に至った経緯や研究成果を提示するとともに、それぞれの専門領域における最新の研究事情を紹介する。受講者には、各講師の発想や研究姿勢を学び、自身の研究の発展に役立つ何かをみつけてもらいたい。</p>																																																			
2. 授業計画・内容 <table border="1" data-bbox="215 891 1453 1574"> <thead> <tr> <th></th> <th>テーマ</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ライフサイエンス分野における動物実験の必要性和倫理</td><td>井澤</td></tr> <tr><td>2</td><td>特定保健用食品・機能性表示食品の創り方</td><td>井澤</td></tr> <tr><td>3</td><td>運動による呼吸循環応答 / 運動学習理論に基づいた運動指導</td><td>岩月</td></tr> <tr><td>4</td><td>肥満や糖尿病の発症や進展に関わるタンパク質の生理調節機能と食成分の関わり / 妊娠期や授乳期の低栄養環境を起因とする肥満や糖尿病の発症について</td><td>佐藤伸</td></tr> <tr><td>5</td><td>疾患モデルラットの原因遺伝子の解明について</td><td>七島</td></tr> <tr><td>6</td><td>地域の生物資源を利用した研究について</td><td>七島</td></tr> <tr><td>7</td><td>皮膚のアンチエイジング(1)</td><td>今</td></tr> <tr><td>8</td><td>皮膚のアンチエイジング(2)</td><td>今</td></tr> <tr><td>9</td><td>運動・認知に関わる脳活動</td><td>渡邊</td></tr> <tr><td>10</td><td>非侵襲的脳刺激法による機能回復の可能性</td><td>渡邊</td></tr> <tr><td>11</td><td>生理活性物質の作用メカニズムと構造-活性相関の評価 其の1</td><td>乗鞍</td></tr> <tr><td>12</td><td>生理活性物質の作用メカニズムと構造-活性相関の評価 其の2</td><td>乗鞍</td></tr> <tr><td>13</td><td>遺伝子データベースを活用した栄養素の機能評価</td><td>乗鞍</td></tr> <tr><td>14</td><td>心因性/身体的ストレスに対する生体反応について</td><td>李</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>李</td></tr> </tbody> </table>					テーマ	担当	1	ライフサイエンス分野における動物実験の必要性和倫理	井澤	2	特定保健用食品・機能性表示食品の創り方	井澤	3	運動による呼吸循環応答 / 運動学習理論に基づいた運動指導	岩月	4	肥満や糖尿病の発症や進展に関わるタンパク質の生理調節機能と食成分の関わり / 妊娠期や授乳期の低栄養環境を起因とする肥満や糖尿病の発症について	佐藤伸	5	疾患モデルラットの原因遺伝子の解明について	七島	6	地域の生物資源を利用した研究について	七島	7	皮膚のアンチエイジング(1)	今	8	皮膚のアンチエイジング(2)	今	9	運動・認知に関わる脳活動	渡邊	10	非侵襲的脳刺激法による機能回復の可能性	渡邊	11	生理活性物質の作用メカニズムと構造-活性相関の評価 其の1	乗鞍	12	生理活性物質の作用メカニズムと構造-活性相関の評価 其の2	乗鞍	13	遺伝子データベースを活用した栄養素の機能評価	乗鞍	14	心因性/身体的ストレスに対する生体反応について	李	15	まとめ	李
	テーマ	担当																																																	
1	ライフサイエンス分野における動物実験の必要性和倫理	井澤																																																	
2	特定保健用食品・機能性表示食品の創り方	井澤																																																	
3	運動による呼吸循環応答 / 運動学習理論に基づいた運動指導	岩月																																																	
4	肥満や糖尿病の発症や進展に関わるタンパク質の生理調節機能と食成分の関わり / 妊娠期や授乳期の低栄養環境を起因とする肥満や糖尿病の発症について	佐藤伸																																																	
5	疾患モデルラットの原因遺伝子の解明について	七島																																																	
6	地域の生物資源を利用した研究について	七島																																																	
7	皮膚のアンチエイジング(1)	今																																																	
8	皮膚のアンチエイジング(2)	今																																																	
9	運動・認知に関わる脳活動	渡邊																																																	
10	非侵襲的脳刺激法による機能回復の可能性	渡邊																																																	
11	生理活性物質の作用メカニズムと構造-活性相関の評価 其の1	乗鞍																																																	
12	生理活性物質の作用メカニズムと構造-活性相関の評価 其の2	乗鞍																																																	
13	遺伝子データベースを活用した栄養素の機能評価	乗鞍																																																	
14	心因性/身体的ストレスに対する生体反応について	李																																																	
15	まとめ	李																																																	
3. 教科書、参考書 特になし (必要に応じて提示する)																																																			
4. 成績評価方法 講義への参加態度とレポートにより評価する。																																																			
5. 受講要件 なし																																																			
6. 社会人学生に対する配慮 希望に応じて土日、夜間の開講、 Web による講義																																																			
7. その他 なし																																																			